



**samco®**  
サムコ株式会社  
証券コード 6387

## 株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	7月31日
	上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金支払株主確定日	期末配当金 7月31日 中間配当金 1月31日
単元株式数	100株
上場市場	東京証券取引所プライム市場
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="https://www.samco.co.jp/">https://www.samco.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) ※株式会社関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行のホームページ ( <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> ) でも承っております。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## サムコナウのご紹介

「研究者の皆様と産業界の橋渡し」をコンセプトにした広報誌サムコナウ (samco NOW) では、最新のトピックスをはじめ、ユーザーのインタビューなど、当社の最新情報を掲載しております。当社をよりご理解いただくためにもぜひアクセスしてください。



<https://www.samco.co.jp/company/samconow/>

**samco®**



## 第45期中間期の売上高・各利益は過去最高を更新することができました。今後も、最先端の製造装置を世界中の製造現場や研究者へ提供することで、省エネ・脱炭素社会の実現に貢献し、更なる成長を目指してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
 当社第45期中間期の報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。



左：代表取締役会長 兼 CEO  
**辻 理**  
 右：代表取締役社長 兼 COO  
**川邊 史**

### 第45期中間期の事業環境、経営成績

半導体等電子部品業界におきましては、コロナ禍で拡大したスマートフォンやパソコンなどの需要減速に伴い部品メーカーの稼働率が低下し、足元における設備投資は鈍化したと見られます。一方、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおいては、5G（第5世代移動通信システム）の普及に伴い、その「高速・大容量」「低遅延」「多接続」という特色を活かした新たな事業領域での開発投資が幅広い企業で進み、本格生産への移行が着実に進んでおります。加えて、不透明さを増す国際情勢を背景に、各国が自国での半導体産業育成の取り組みを強化しており、半導体等電子部品製造装置の需要は拡大しております。

このような状況の下、当社では将来有望な材料である窒化ガリウム（GaN）、ガリウムヒ素（GaAs）、炭化珪素（SiC）、インジウムリン（InP）などの化合物半導体を用いたデバイス製作に合わせた最先端の製造装置を世界中で販売してまいりました。足元は、通信用レーザー、LED、高周波デバイス、パワーデバイス、各種電子部品の開発、製造に幅広く携わっているほか、新規事業としては医療・ヘルスケア関連の製造装置の販売も増えつつあります。その結果、当第2四半期累計期間における国内売上高は2,542百万円（前年同期比5.4%増）となりました。国内では大手デバイス・電子部品メーカー、大学、研究機関などへの販売が好調でした。また、海外売上高は1,563百万円（前年同期比8.7%増）となり、アジア、北米を中心とした海外メーカー、大学、研究機関など幅広い顧客への販売が拡大しております。海外売上高比率は38.1%となり、中長期的に目標としている海外売上高比率50%に向け、更なる海外事業の拡大を推進してまいります。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高4,105百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益1,012百万円（前年同期比5.1%増）、経常利益1,063百万円（前年同期比8.3%増）、四半期純利益747百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

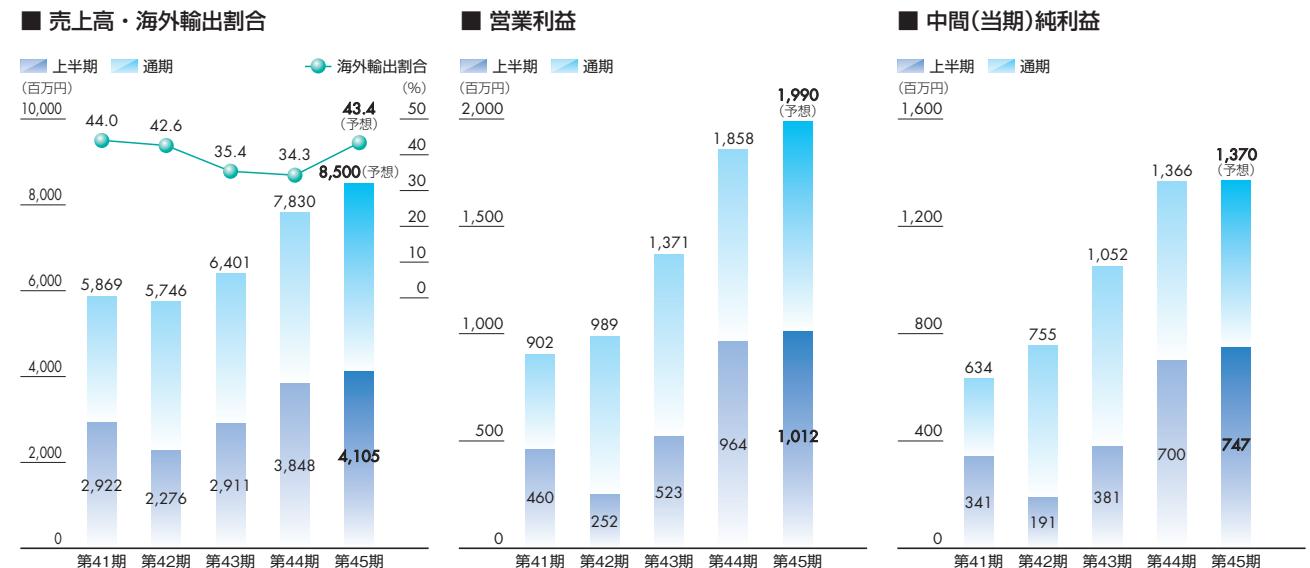
### 今後の取り組み、下期の見通し

前期（第44期）よりスタートした3カ年の中期経営計画を推進中であり、第45期中間期は計画を若干ながら下回ったものの、下期以降は事業活動を再び成長軌道に乗せられるよう、営業活動や製品開発に全社で取り組んでまいります。また、今後の更なる事業拡大を担うべく、グローバルに活躍できる次世代の若手人材の育成にも努めてまいります。2024年12月には、新たな研究開発拠点「第三研究開発棟」の開設を予定しており、化合物半導体分野における最先端の技術開発体制を強化し、グローバルニッチ市場のリーディングカンパニーを目指してまいります。

なお、配当につきましては、通期での実施を予定しておりますので、株主の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

株主、取引先、従業員等のステークホルダーにとって魅力ある企業を目指し、成長力と収益力の向上を図り、適切な利益配分により企業価値の向上を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 決算ハイライト



## 拠点開設

### 第三研究開発棟新設を決定

当社は中期経営計画において重点課題と位置付けるクラスターツールシステムの拡販のための研究開発機能をさらに充実させるため、本社（京都市伏見区）周辺に「第三研究開発棟」を新設し、2024年12月から運営開始することを決定しました。

化合物半導体の市場の広がりに伴い生産が本格化するSiCパワーデバイス、GaNパワー/RFデバイス、GaAs VCSEL、MEMS、高周波フィルターなどの分野で高度化するニーズに応えるため、最先端の設備を用意します。クリーンルームには、最新の生産用装置や走査電子顕微鏡（SEM）、膜厚計などの計測機器を設置し、効率的かつスピーディな研究開発を進めます。合わせて、計画的に増員を行い、顧客・マーケットのニーズに即応した開発体制で、当社の研究開発の中核拠点とする予定です。



第三研究開発棟完成イメージ



## 製品販売

### 「RIE-10NR」販売累計500台を達成

2023年7月、研究開発用エッチング装置「RIE-10NR」が累計販売台数500台を達成しました。この度、500台目のRIE-10NRをご導入いただいた理化学研究所 量子電子デバイス研究チームの山本倫久チームリーダーを訪ね、当社代表取締役社長の川邊が謝意を伝え、記念品を進呈しました。

RIE-10NRは、1995年12月に販売を開始して以来、国内外の大学、研究機関、企業に選ばれ続け、この度500台目の販売に至りました。シンプルでコンパクトな装置コンセプトはそのままに、安全性や使いやすさなどの面で改善を重ね、研究開発用エッチング装置のデファクトスタンダード機として世界中で活躍しています。



## 展示会

### 「SEMICON Japan 2023」に出展、TBS「ひるおび」にて当社を紹介

2023年12月13日から15日までの3日間、世界最大級のエレクトロニクス製造サプライチェーンの総合展示会である「SEMICON Japan 2023」が東京ビッグサイトで開催されました。延べ来場者数は85,000人（前年比4割増）となり、今後のデジタル化や脱炭素社会を支える半導体への関心の高さが伺えました。

当社ブースでは、本格量産装置「クラスターH™」、クライオICPエッチング装置「RIE-800iPLN」、多機能CVD装置などの新製品を紹介し、国内外からの多くの来場者で賑わいました。

また、展示会初日にはTBS系列の情報ワイド番組「ひるおび」の取材があり、当社ブースを撮影いただきました。12月15日には、同番組のエンディング映像内で当社ブースの紹介映像が流れました。



当社ブースの様子



社員一同



## 海外事業

### 東スイス応用科学大学との連携を開始、欧州市場の開拓を強化

海外販売の拡大のため、東スイス応用科学大学との連携を開始し、欧州市場の開拓を強化します。東スイス応用科学大学のマイクロテクノロジー及びフォトニクス研究所へ、当社の研究開発用エッチング装置「RIE-10NR」と卓上型UVオゾンクリーナー「UV-2」を貸し出し、オープンラボとして活用されている同研究所にて欧州中の大学や企業の研究者にご利用いただくことを目的としています。

欧州は先端の化合物半導体の研究が盛んで、多数の大学や研究所が存在します。この度の連携を機に欧州子会社samco-ucp AG社と協力して、欧州市場を開拓してまいります。



## ■ 会社概要

商号 サムコ株式会社 (英文: SAMCO INC.)  
 設立 1979年 (昭和54年) 9月  
 事業内容 半導体等電子部品製造装置の製造、販売及び輸出入  
 資本金 1,663,687,288円  
 従業員数 175名  
 本社 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36番地  
 TEL (075) 621-7841 FAX (075) 621-0936  
 国内拠点 本社 (京都)、東日本営業部 (東京)、東海支店 (愛知)、つくば営業所 (茨城)  
 海外拠点 米国 (カリフォルニア・ニュージャージー)、台湾、シンガポール、中国 (上海・北京)、マレーシア  
 研究拠点 本社研究開発センター (京都)、オプティフィルムズ研究所 (米国)

## ■ 役員

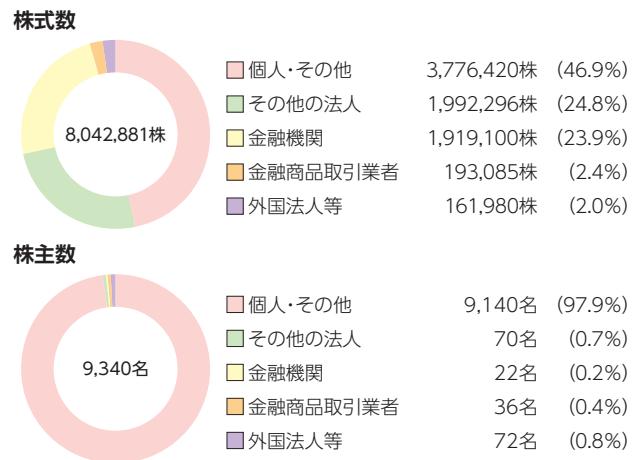
代表取締役会長兼CEO 辻 理  
 代表取締役社長兼COO 川 邊 史  
 取締役専務執行役員 山下 晴彦  
 取締役執行役員 宮本 省三  
 佐藤 清志  
 社外取締役 村上 正紀  
 高須 秀視  
 藤田 静雄  
 常勤監査役 辻村 茂  
 社外監査役 木村 隆之  
 西尾 方宏  
 常務執行役員 外山 信一  
 執行役員 本山 慎一  
 松出 和男  
 ヘンリー・チャン  
 上杉 能章  
 江崎 裕二

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 14,400,000株  
 発行済株式の総数 ..... 8,042,881株  
 株主数 ..... 9,340名  
 大株主の状況

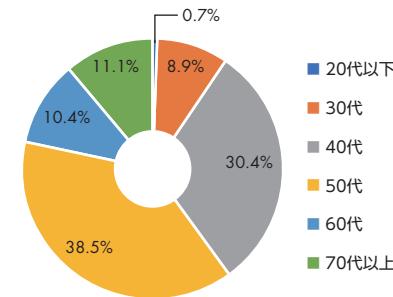
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(一財)サムコ科学技術振興財団	1,000,000	12.4
辻 理	863,707	10.7
サムコエンジニアリング(株)	850,282	10.6
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	665,600	8.3
(株)日本カストディ銀行(信託口)	377,300	4.7
辻 一美	201,465	2.5
野村信託銀行(株)(投信口)	161,000	2.0
(株)三菱UFJ銀行	129,600	1.6
サムコ従業員持株会	104,738	1.3
立田 利明	103,099	1.3

## ■ 所有者別株式分布状況

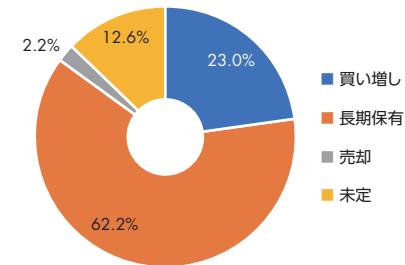


第44期年次報告書にてご案内した株主アンケートには、多くの株主様からご回答をいただき、厚くお礼を申し上げます。株主様から寄せられたご意見の一部をご報告いたします。いただきました貴重なご意見を今後の事業活動に活かしてまいります。

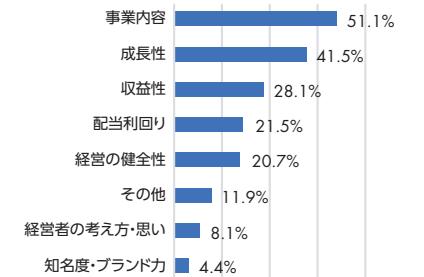
### あなたの年齢をお知らせください。



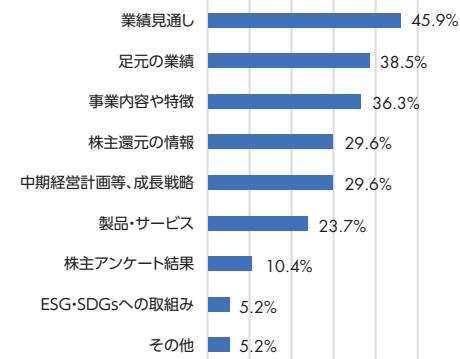
### 当社の株式に対してどのような方針ですか？



### 当社に投資する決め手となったポイントは何ですか？ (複数回答可)



### 今後、年次報告書への記載を希望または充実してほしい情報は何ですか？ (複数回答可)



### ご意見のご紹介 (一部)

- ▶日本の技術力の成長を担っていただく会社として、とても期待しております。
- ▶これからも社員一丸となって頑張ってくださいたいです。
- ▶次代を先見し、ますます業容の拡充に努められますよう、ご期待します。
- ▶安定成長と株主還元を期待します。
- ▶株主還元施策の更なる充実をお願いします。
- ▶過去最高の売上、営業利益、純利益を達成され素晴らしい業績ですね。皆様の努力あっての物と嬉しく思いました。
- ▶しっかり利益の出る体質になったのは素晴らしいです。ますますの発展を期待しています。
- ▶いい人材の確保が会社の成長につながると考えます。人材に対する投資をお願いします。
- ▶女性の方が役員にいらっやらないようなので、今後そうした方も育成していただけることを期待しております。
- ▶技術力のある会社に関西で活躍されることが嬉しいです。